

<会長挨拶> 時 準雄 会長

間もなくカナダのトロントで国際大会が開催されます。当クラブからは、鎌田一夫会員、及川赴ご夫妻、横田吉則ご夫妻、菅原裕典ご夫妻、菅野忍会員が参加致します。私は仙台で皆様の道中の安全をお祈りしております。先日、内館牧子さんの講演会に行つて参りました。その中で、[memento mori]という言葉がでてきました。これはラテン語で「死を忘れるな」と訳され、死はいつも側にある。明日死ぬかもしれないから今を楽しめという意味だそうです。ヨーロッパの方の考え方は、能動的だなと感じました。

<会務報告> 三浦 一 幹事

仙台RC様より 例会変更のお知らせ 拝受  
仙台レインボーRC様より 2017-18年度 インターシティ・ミーティング報告書 拝受

<ロータリーの翼(短期)報告> 斎藤正人会員

青少年交換短期留学生在が、オクラホマ州より団長夫妻含め、13名が2泊3日に来仙しました。

当クラブでは菅原貴治さんが2名、私の知人が1名そして私が1名の計4名の学生を受け入れ、6/12(火)に無事に第8分区に引き渡し致しました。留学生の方々にとって良い思い出が出来た事と思います。



<米山記念奨学金授与> 宋 洪叶さんに6月奨学金を授与

<卓 話> 青年経済人としての覚悟

一般社団法人泉青年会議所 理事長 佐瀬 充洋氏

<発足>

ロータリークラブさんは1905年発足とお聞きしております。青年会議所は1915年アメリカ合衆国のミズリー州に於いて、「自由な社会と経済発展を実現し、新しい社会をリードするにふさわしい人材育成」を目的に成立。その後、全世界に広がりました。



<三信条> 「修練・奉仕・友情」

日本では、「明るい豊かな社会の実現」を目的として「自己の修練・社会への奉仕・世界との友情」の三信条のおと地域に根差した青年会議所運動が行われています。これは、ロータリークラブさんとも近い物があると思います。

<概要・主な事業>

1974年に、全国で568番目の青年会議所として旧泉市に誕生いたしました。誕生以来「泉区民ふるさとまつり」に代表される、地域に密着したまちづくり活動を展開してきております。その他に、地域資源(食材や物人)を発掘し発信する「T-1グランプリ」、「七北田川クリーン運動」や「鮎の放流事業」を始めとする環境保護活動。また、次の世代を担う子供達の育成にも力を注いでおり、30年以上続く「泉」C杯小学校バレーボール大会を始め、身近な自然に対する知識の学習をし、七北田川のイカダ下りもできる体験型事業等種々の青少年育成事業も実施しております。2014年には創立から40周年を迎えましたがこれからも我々は、時代の変化に対応した柔軟な発想力と情熱溢れる行動力でより良い地域を創るため邁進し続けます。

<メンバーの思い>

動物は子孫繁栄が第一の生存目的。人間は子孫を残し、育て終わったあとで長い人生がある。その意味は何かを考えた時、私自身は何かしらの意味で、死ぬまで「成長」し続けたい。20代は掛け出し、30代はヒョッコ、40代でやっと一人前。40才までに何をやるかが、その後に人生に華を咲かせられるかが決まってくる。そんな覚悟を持って日々研鑽を積んでおります。

<ビジター>

加藤 幹夫様 (仙台北RC)

<ゲスト>

一般社団法人泉青年会議所 理事長 佐瀬 充洋様・専務理事 齋藤 嘉章様  
米山記念奨学生 宋 洪叶さん

<ニコニコBOX>

時 準雄会長 泉青年会議所理事長 佐瀬さん 専務理事の齋藤さん 卓話を頂き感謝申し上げます。

永井孝憲会員 佐瀬様 ご来会有難うございます

以下同意文にて

市川・大垣・奥村・金子・鎌田(善)・萱場・菅野(耕)・菅野忍・菊地・小池・斎藤(文)・斎藤(正) 沢崎・菅原・高橋・時・中嶋・中村・野村・前田・松田・三浦(宏)・三浦一・横田(吉) 各会員

今回31,000円 今年度累計 1,441,000円

元米山記念奨学生(2013-14年) ト 英悦くんよりメッセージ

先日の大阪での地震は皆様大丈夫でしたでしょうか? 私は、現在 上海の製薬会社で、生体医薬品の開発を行っています。新たな薬を早く市場に提供できるように、日々頑張っています。皆様のご健康をお祈りしています。

